

# 経営改善普及事業取組事例集

会議所名： 鈴鹿商工会議所

指導員名： 高橋真知

## 【企業概要】

事業所名：株式会社ヒグチ工業 資本金：1千万円  
業種：給排水設備、空調設備等工事業 従業員数：7名  
支援テーマ・内容：管工事等施工業から施工部品商社型企业への転換

## 【支援に至った背景～経緯】

給排水設備、空調設備等工事を展開していたが、競争激化により売上が半減、価格競争に巻き込まれ先の見えない危機的状況に陥っていた。

そんな時に取引先(千葉)が独自に開発した画期的なステンレス鋼材が、消防設備設置として利用できるようになった。このステンレス鋼材は、工事施工単価を飛躍的に抑えることができ、関東方面で施工実績をあげていた。今回、その取引先より、関西方面へ進出を図るため、独占的市場開拓の権利を得る方向となり、市場の信頼獲得とPR向上の為、経営革新の申請を検討することになり、そのプランが商工会議所に持ち込まれ、支援がスタートした。

## 【支援の経過】

○平成24年2月 経営革新計画の承認申請に関する支援(専門家派遣)  
経営革新計画の内容に関する確認を、三重県の担当部署と調整。

## 【支援のポイント】

- 課題の整理
  - ・ 施工業者から、施工商社型への転換が、経営革新の新規性に該当するかどうか、ポイントを整理。
- 支援のポイント
  - ・ 取り組み内容(新規性・市場性・販売戦略・社会性・関連する法律等)について確認、プランの肉付けを行った。
  - ・ 売上高推移表、借入金返済計画及び資金繰り計画などの作成するなど、経営革新計画承認を取得するための全面的な支援を行った。

## 【支援の効果・成果】

- 1.平成24年5月、三重県の経営革新計画の承認を受けるところができた。
- 2.承認取得後、金融機関より融資を受け、資金を調達することができた。
- 3.消防法規則改正に係り、唯一のJIS規格品メーカーとなった会社との独占契約締結により、施工業から施工商社型企业への転換の足がかりができた。
- 4.ホームページを立ち上げ、情報発信・販路を広げた結果、国外からも引き合いがあり、WEBを活用した販路開拓が徐々に効果を表している。
- 5.ステンレス鋼管の販売が平成24年度の売りにげに貢献し、該当年度は304百万円(平成22年度は、247百万円)となった。



●今後の主力製品となる  
ステンレス鋼材を持つ、  
樋口政司社長

## 【支援策企業の声】

- 私どもの将来ビジョンについて時間をかけて理解をしていただき、様々なアドバイスを頂きました。
- 専門家を紹介いただき、計画としてまとめなければいけないポイントを整理することができました。
- 金融機関との関係が向上し、様々な個所でPR頂いた。
- 待ちの営業から提案型営業スタイルへの転換を進めるとともに、施工商社型企业への転換をより一層進めていきたい。